



緑のカーテンの作り方（アサガオの場合）



準備するもの

プランター：大きめで、奥行き、深さのあるものがよい。

鉢底石：水はけをよくするため、プランターの底に小石や木炭の欠片などを敷くとよい。

土：培養土が便利。園芸土と腐葉土又は堆肥を混ぜてもよい。

種

ネット：10cm×10cm 目角がおすすめ。

支柱：大きいものはネットを張るために利用。小さいものは苗が短いうちに支えるために利用できる。

肥料：ゆっくり効く肥料を使うのがよい。

プランターの底に鉢底石を敷き、土を入れます。あわせて肥料も入れておきます。

種を蒔きます。（5月中に種を蒔くようにしましょう）

アサガオの種は皮が硬くて吸水しにくいので、種を一晩水につけて吸水させるか、種に切り込みを入れておくと発芽しやすくなります。ただし、市販の種で「発芽処理済み」となっているものについてはこの作業は不要です。

1週間程度で発芽します。たくさん芽が出た場合は、少し大きくなるのを待って間引きをします。丈夫そうな芽を残し、弱そうな芽をハサミでカットします。



毎日たっぷり水をあげましょう。



プランターは水分の蒸発・流出が早く、伸び盛りになるとよく乾きます。真夏は、朝・夕に水やりをしましょう。

水は、水道水ではなく、雨水を貯めておいたもの、風呂の残り湯や米のとぎ汁などを使うと環境にやさしいです。

追肥をしましょう。（種蒔き約1ヶ月後から、10日～1週間に1回程度が目安）

土づくりのときにも肥料を入れましたが、生育にあわせて肥料を追加します。

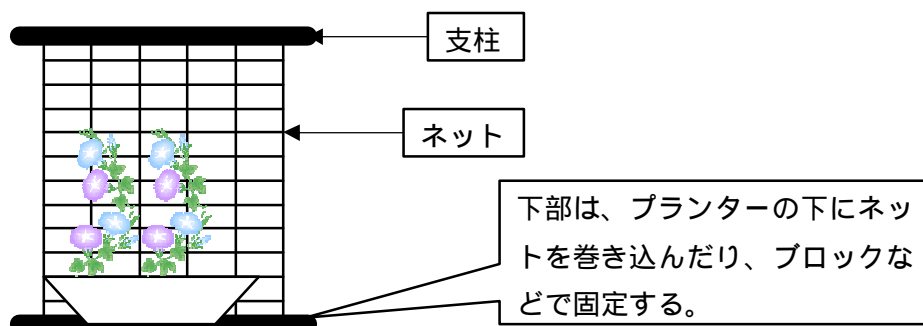
緑のカーテンの育成では、通常の育て方と比べて、肥料がたくさん必要になります。追肥には化学肥料が便利ですが、与えすぎに注意しましょう。

つるが伸びてきたら、支柱やネットを設置し、葉がネット全体に広がるようバランスよく誘引してあげましょう。



【ネット・支柱の設置について】

ネットを設置するときは、上部と下部に長い支柱を付けると安定します。
ひもやロープ等を使って、壁面や窓、ベランダの手すり等に固定します。



マンションでの事例



大きく育ち緑のカーテンになったら、涼しさと花を楽しんでください。



あわせて、エアコンの使用を控え、節電しましょう！

秋になり、緑のカーテンが枯れてきたら片付けます。

種は収穫し、大事に来年まで冷暗所で保管しておきましょう。

ネットから取り外した植物はコンポストなどで堆肥にすることもできます。